



# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	052	小学生の放課後の居場所づくりの推進				
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課
	基本施策	06	青少年の健全育成			
めざす姿	保護者の就労の有無を問わず、全ての児童が放課後を安全に生き生きと過ごすことができます。					
SDGsとの関連	 					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	1,076,317,000	1,087,565,000	1,256,201,000			
国庫支出金	96,067,000	147,473,000	151,842,000			
都支出金	223,315,000	280,077,000	297,135,000			
市債	0	56,700,000	29,800,000			
その他	343,790,000	248,063,000	385,308,000			
一般財源	413,145,000	355,252,000	392,116,000			
予算現額	1,036,400,000	1,092,831,000	0			
決算額	999,976,990	1,069,590,467	0			
国庫支出金	164,672,400	148,878,200	0			
都支出金	263,312,000	235,541,000	0			
市債	0	26,300,000	0			
その他	173,629,700	240,059,600	0			
一般財源	398,362,890	418,811,667	0			
執行率	96.5	97.9	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	16.10	16.60	0.00			
職員人件費	126,140,393	132,788,729	0			
月額制会計年度任用職員数	36.00	35.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	116,952,912	112,634,060	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	606,760	675,738	0			
総コスト	1,243,677,055	1,315,688,994	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 安全・安心に放課後を過ごせていると感じる保護者の割合	-	78.05	-	-	-	80
	%	達成率 97.6	0.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	R4. 4. 1時点の学童クラブ入会児童数は2,395人で小学校1~3年生全体における35.6%が入会している実績を鑑みると、保護者の就労率上昇等により安全安心な放課後の居場所確保の必要性が高まっていると考えられる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	国が定める令和5年度末までの5年間を計画期間とする新放課後子ども総合プランにおいて、全ての児童の安全安心な放課後の居場所確保のため、学童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進めるとしている。	指標の目標値に向けて基準値より向上しており、順調に進捗していると考えられる。	
市民ニーズ	学童クラブ利用者の保護者アンケートにおいて、利用時間や子どもの登下館への配慮等の項目において80%以上が満足もしくはまあ満足としているが、気軽に相談する機会や保護者からの要望への対応等については満足度が低く、個別の対応を求める保護者が多いと思われる。		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	学童クラブ運営事業		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 安全・安心に放課後を過ご せていると感じる保護者の割合	69	計画値	80	80	80	80	80	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	78.05	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		令和3年度から学童クラブの運営を一部委託した結果、開館時間の延長及び安定的な人材確保策をとることができた結果ととらえている。今後引き続き利用児童やその保護者の満足度向上に取り組む。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	放課後子ども教室運営事業		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 平均参加児童数	27.9	計画値	26	27	28	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	25.6	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症の影響により、一部参加児童が少ない学校はあるが、概ね計画通りとなっている。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	児童の安全安心な環境を確保するために、安定的な運営体制を整えるとともに、登下館時の安全確保のためにIc t 技術を活用した仕組みづくりの検討を開始します。			
今後の展開	学童クラブや放課後子ども教室の一体的な運営のありかたをさらに具体的に検討し、全ての児童が安全に生き生きと放課後を過ごせる環境整備を目指す。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				


## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
放課後児童の居場所づくりを含めた見守りに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
学童クラブや放課後子ども教室に限らず、小学生が実際に放課後を過ごしている具体的な環境や見守りに繋がる取組について、情報を集約して効果的に発信できるツールを整備したい。	放課後見守りボランティアの登録者数を増やすために、市報やホームページ、チラシ配布等により活動を周知する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
放課後見守りボランティアについては、令和4年度末時点で前年度比10人増(82人→92人へ)	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	放課後見守りボランティアの登録者数を維持もしくは増加させる。特に放課後子ども教室を利用する児童保護者を中心に、児童が帰宅する時間に自宅周辺の見守りに協力してもらうなど、できるだけ多くの市民の協力を得られる環境を整備する。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	053 青少年健全育成活動の推進		
総合計画	基本目標	Ⅲ 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）	主担当部課名
	基本施策	06 青少年の健全育成	
めざす姿	青少年が犯罪被害やトラブルに対する予防意識を持つとともに、悩みが複雑・深刻化する前に相談できる体制や、地域社会全体で犯罪被害及び非行の防止に取り組む体制が整備されており、青少年の健やかな成長が促されています。		
SDGsとの関連			

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	20,378,000	21,991,000	25,259,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	807,000	491,000	3,847,000			
市債	0	0	0			
その他	1,630,000	3,677,000	1,817,000			
一般財源	17,941,000	17,823,000	19,595,000			
予算現額	23,359,000	27,290,000	0			
決算額	16,223,917	23,342,566	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	270,000	5,949,651	0			
市債	0	0	0			
その他	309,000	1,977,350	0			
一般財源	15,644,917	15,415,565	0			
執行率	69.5	85.5	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	4.60	4.40	0.00			
職員人件費	36,040,112	35,197,012	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	53,567	57,616	0			
総コスト	52,317,596	58,597,194	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 府中警察署が補導した不良行為少年の人数	253人	実績 190	-	-	-	240
		達成率 79.2	0.0	0.0	0.0	
② インターネット利用啓発動画の延べ視聴回数	-	実績 1,686	-	-	-	300
		達成率 562.0	0.0	0.0	0.0	
③ 青少年等に係る相談窓口を紹介した延べ人数	6人	実績 11	-	-	-	39
		達成率 28.2	0.0	0.0	0.0	
		実績 達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	核家族化が進行し、保護者の就労環境が変化するなか、家庭だけで子どもを犯罪や事故から守ることが困難になっている。また、スマートフォンの普及に伴うSNSを媒介とした青少年の犯罪被害やトラブルが増加している。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
			インターネット利用啓発動画の延べ視聴回数は、目標値を大幅に上回っている。
国・都の政策	SNSに起因する子ども・若者の被害事犯の増加等を踏まえ、フィルタリング利用率の向上やペアレンタルコントロール活用を推進している。		
市民ニーズ	令和4年度に実施した調査によると、保護者の大部分は、子どものインターネット使用に関して不安・心配を持っている。		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	青少年健全育成事業		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 青少年健全育成協力店の拡充	142	計画値	145	150	155	160	160	160	160	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	147	-	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新規加入はなく、現状維持となっている。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	青少年インターネット利用啓発事業		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① インターネット利用啓発動画の延べ視聴回数	-	計画値	300	300	300	300	300	300	300	1	2	3	4	5	6	7	8	
	回	実績	1,686	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		6本の動画を作成し、動画により視聴回数は差があるが、6本合計で視聴回数1600回越えと、目標を大きく上回る結果となった。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	青少年総合相談運営事業		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	計画を上回る成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成基本方針に基づき、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、各種事業を実施した。（一部事業については休止・縮小・中止）</li> <li>・青少年のインターネット利用啓発のため、動画を作成したほか講演会等を開催した。</li> <li>・青少年総合相談について、対象年齢及び実施日を拡大した。</li> </ul>			
今後の展開	青少年健全育成基本方針に基づき、社会環境等の変化に対応しつつ、各種青少年健全育成事業を展開していく。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
青少年が抱える悩みの解決に向けた支援や非行防止に係る見守りに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
悩みを抱える青少年等が必要な時に必要な相談窓口にアクセスできるよう、青年総合相談や「青少年うめちゃん相談ナビLINE」を更に周知を展開していく必要がある。放課後子ども見守りボランティアについて、市広報などで、ボランティア募集を行い、ボランティア数も微増していることから、引き続き周知を継続したい。	青少年等が悩み等を相談しやすくなるよう、引き続き環境整備を進め、周知を図る。関係機関との連携により、インターネット等も活用しつつ、青少年の非行防止及び犯罪被害防止、見守り活動に努める。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
青少年総合相談については、対象年齢及び実施日を拡大。また、新たに青少年が直接小児科医等に相談できる思春期オンライン相談事業を開始し、相談環境の整備を進めた。	これまで対応が難しかった課題や新たに生じた課題に協働で解決策を導き出すことができた	悩みを抱える青少年及びその保護者が、相談を必要とするときに本事業を活用できるよう、事業の周知を進める。